

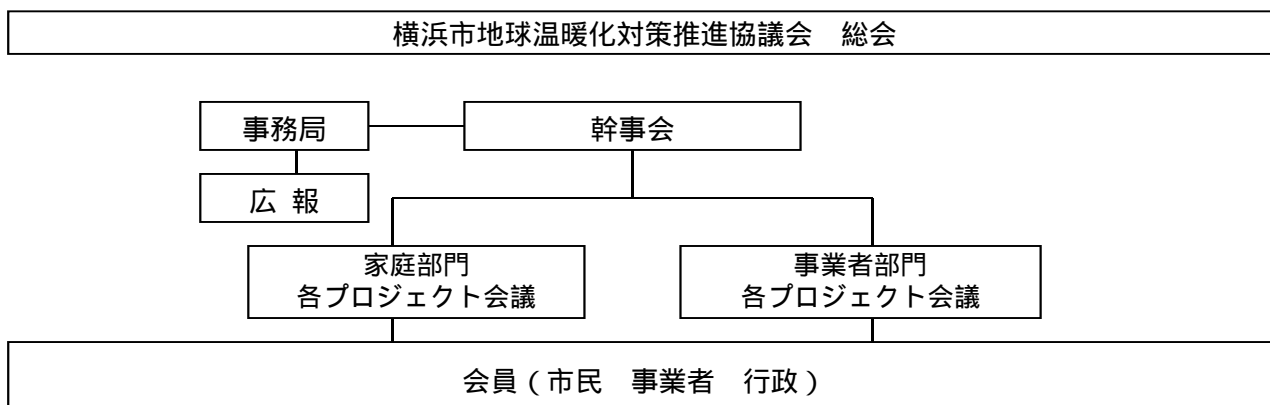
## 平成27年度事業計画(案)

### 1 平成27年度の組織構成・活動目的

横浜市は基本目標として、市民・事業者・行政相互の連携・協働を促進し、持続可能な低炭素都市と環境未来都市の実現に向けて、「エネルギーの安定供給・自立化と節電・省エネの推進」、「脱温暖化行動の推進」、「環境未来都市の推進と温暖化対策に有効な制度の運用や仕組みの検討」を施策に掲げている。

事業者・団体・個人が一体となった当協議会は、横浜市の基本目標を実現するためにエネルギーアクションプランの一翼を担う組織として、横浜市の施策との連携を図り、家庭及び市内中小企業における「節電・省エネの推進」、「脱温暖化行動の推進」の取り組み実践と、参加者の拡大に向けた普及啓発の継続実施を活動の柱とする。

目標達成のため、横浜市が推進するヨコハマ・エコ・スクール事業、3R 夢事業と連携し、さらに区役所、自治会・町内会、事業者、団体、各大学、個人との連携にも力を入れる。



### 2 広報

( 事務局 )

目的	ホームページ等を通して市民に地球温暖化対策の推進に関する活動や情報を迅速に、またわかりやすく伝えると共に、会員の熱意のある取り組みを広く広報します。
内容	ホームページの更新やニュースレターによる情報伝達 会員の熱意ある取組をホームページで公開 会員が各プロジェクトや活動に参加できる様に、ホームページ等で参加呼びかけ
期間	通年
予算	200 千円

### 3 市との協定事業

#### 27年度はすべての協定事業において統一して下記テーマに取り組む事とする

こまめな省エネ・省エネ家電への買い替え LED電球の普及 既築住宅のエコ化(ペアガラスの活用、エコ改修) 太陽光発電・太陽熱利用 省エネチェックシート(環境家計簿等) やっています・やりますアンケート

#### 1 省エネルギー等の広報・PR 活動事業

##### 1) 区民まつり等のイベントでの省エネルギー等27年度重点テーマの普及

目的	イベント等における節電・省エネ、住宅のエコ化、太陽光発電等の普及
内容	区役所等の開催する環境イベント等に 18 回程度参加し、具体的な省エネ方法を提示し、二酸化炭素排出低減を実践する人を増やす。 「省エネチェックシート(環境家計簿等)」の取組や「やります・やっています宣言」シートを実施する。
場所	横浜市内各所
対象	横浜市民
期間	平成 27 年 7 月～平成 28 年 2 月 18 回程度
予算	340 千円
募集方法	区民祭り等各種イベント等に参加して実施
協力団体等	区役所、町内会、地域の活動団体、事業者等

##### 2) 風力発電とエネルギー関連施設等の見学会の開催

目的	風力発電とエネルギー関連施設、省エネ住宅関連施設等をセットで見学し、エネルギーの現状を理解してもらい、参加の市民に見学会の場を活用して、省エネ講座を実施して家庭での省エネ実践、省エネルギーチェックシート(環境家計簿等)の実施等による二酸化炭素削減を実施する。
内容	風力発電所「ハマウィング」の見学と、エネルギー関連施設、省エネ住宅等の見学会を 3 回実施 会場で省エネ講座、省エネチェックシート(環境家計簿等)の普及を実施する。 やっています・やりますアンケートを実施する。 広報は横浜市のたより等に掲載する。
場所	風力発電所とエネルギー関連施設、省エネ住宅施設等
対象	一般市民 3 回合計 150 人(バス 1 台 50 名×3 回)
期間	平成 27 年 7 月～28 年 2 月 年間 3 回 9 月・11 月・1 月
予算	240 千円
募集方法	広報やインターネットなどにより募集
協力団体等	横浜市・東京ガス(株)・東京電力(株)・(株)テレビ神奈川等

## 2・エネルギーアクションプラン学習会&担い手育成事業

目 的	横浜市の取組むエネルギーアクションプランの実践を市民に広め、その中から、担い手になる人材の育成を実施する。
内 容	<p>1・各区役所、NPO、自治会・町内会、企業等と連携して学習会を開催し、その参加者の中から 28 年度以降の担い手を育成する。</p> <p><b>1)ステップ1</b> 市内各方面区に於いて年間 7 回程度実施。参加者 250 名程度。 講座内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市の温暖化対策</li> <li>・家庭で出来る省エネ</li> <li>・太陽光発電・省エネ住宅</li> <li>・省エネチェックシート(環境家計簿等)</li> </ul> <p><b>2)ステップ2</b> 実技実施 40 名 ステップ1からの参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会実施のイベント等スタッフとしての参加</li> <li>・省エネチェックシート(環境家計簿等)の家庭での取組</li> </ul> <p><b>3)ステップ3</b> 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修了者の役割等に関するオリエンテーション 役割 - 省エネチェックシート(環境家計簿等)の普及 28 年度の区民まつり・学習会の担い手、及び事例報告等への参加</li> <li>・修了書の発行(名刺大)</li> </ul>
場 所	区役所、関係機関、自治会・町内会、事業者等
対 象	自治会・町内会、NPO、各種関係機関・団体、事業者等
期 間	平成 27 年 7 月～28 年 2 月 8 回程度
予 算	280 千円
募集方法	市のたより、区の便り等の広報、インターネット、区役所・NPO・自治会・町内会等チラシ
協力団体等	横浜市、区役所、自治会・町内会、事業者・NPO 等

### 3・省エネチェックシート(環境家計簿等)による家庭の二酸化炭素削減事業

目的	横浜市地球温暖化対策実行計画では、2020年に温室効果ガスを16%削減(2005年比)が位置付けられている。目標を達成するには家庭での取組が重要となってくるため、省エネチェックシート(環境家計簿等)を活用して、市民の省エネに関する意識を高めることを目指す。
内容	2015年度はモデル取組として、2016年度以降は市とも相談して本格取組を模索する。 1) 取組内容 なるべく簡単なものにする。 項目 電気、ガスとする。 期間 冬の省エネ(11月~1月の3カ月間) 内容 検診表の昨年度と今年度の取組月の数字を記入する 使用量と電気代・ガス代 様々な組織が取り組んでいる方法と連携させてもらう。 無記名とする。 集計は協議会とする 結果発表方法 ・マスコミ発表 ・報告会の開催 2月末(省エネルギー月間)
削減目標	前年同月より削減
対象	2000枚をめざす 区民まつり・見学会等参加の一般市民、学習会参加者、関係機関、自治会・町内会等
期間	取組期間 平成27年11月~28年1月 集計・報告 28年2月
募集方法	市の広報、会員、一般市民、ツイッター、ミニコミ誌等 FM横浜、HP等
予算	400千円
協力団体等	関連事業者・団体

### 4・市民発電等アドバイス事業

目的	エネルギーアクションプランにも位置付けられている市民電力の実現に向けて、26年度経済産業省に市が協力して実施した「まちエネ大学」のホローアップとして、アドバイスを実施する。
内容	市内で市民電力の設置を目指すNPO等へ下記のアドバイスを実施する 設置の規模、設置場所の法的問題 買取価格・設置の採算の試算・見積り取り方 国の申請・東京電力の申請と法律の関係 蓄電池の設置 設置後の維持管理・保険の関係 等々
場所	市内全域
対象	市内の市民団体・関係団体
期間	平成27年7月~28年2月
予算	40千円
協力団体等	関連事業者・団体

## 5 自主事業

### 1) 中小企業省エネルギー化支援事業 事業者部門

目的	平成 27 年度も継続して中小企業の省エネルギー化を支援して、二酸化炭素の削減を図る。
内容	中小企業向けの講演会を開催する。エコアクション取得者の事例報告会を実施する。
場所	市内全域
対象	主に会員企業を中心とした市内中小企業
期間	平成 27 年 7 月～28 年 2 月
予算	30 千円
協力団体等	関連企業

### 2) 台所油田プロジェクト 家庭部門

目的	日本のエネルギー自給率 4%を考えると未利用エネルギーの活用は重要であり、台所で廃棄される廃食油をエネルギーとして再利用する事により、エネルギーの有効活用を図り、二酸化炭素の排出削減、水質汚濁の防止を実践する。 また、菜の花等から油を抽出し、エコエネルギーとして活用し、二酸化炭素の削減を図る。
内容	1) 廃食油の回収 会員事業者と連携し、区役所、自治会、町内会等のイベントで廃食油を回収し、エネルギーへの活用を図る。そのエネルギーを工場動力及び温室栽培の燃料等として活用し、重油・灯油等から排出される二酸化炭素の削減を実践する。 回収量と二酸化炭素削減目的量 区民まつり等イベント(栄区・鶴見区・港南区・泉区・港北区) 自治会・町内会(川上地区町内会、芹が谷地区町内会、他に 2 か所予定) 自治会・町内会、商店街の取組 (15 か所以上予定) 2) 菜の花、ひまわり等から油を抽出して、灯油と混ぜてエコエネルギーとして活用するための試行を実施する。 3) 横浜市内でエコエネルギーの活用先を見つける 4) [役割分担] 協議会：横浜市、区役所、町内会、市民等に廃食油回収実施呼びかけ・回収 市内利用先の模索 事業者：回収の実務、再燃料化、燃料としての活用を農家、事業者に働きかける。 事業費の負担
場所	市内各所
対象	区役所、町内会、自治会等
期間	平成 27 年 7 月～28 年 2 月 10 回程度
予算	50 千円
協力団体等	信愛エナジー合同会社 事業者、区役所、自治会、町内会、地域の拠点等

### 3) 風力発電親子見学会

目的	子ども達が環境にやさしいエネルギーについて学習し、地球温暖化について関心を持ってもらい、行動に繋げる
内容	市環境創造局と連携して、風力発電と関連施設の親子見学会を実施する。
場所	横浜市内
対象	横浜市内の親子
期間	平成 27 年 7 月から平成 28 年 2 月 1 回～2 回程度
予算	160 千円
募集方法	市の広報
協力団体等	横浜市環境創造局・関連施設

### 4) 道志村間伐体験会

目的	横浜市民の水源地である道志村に親子、若者が行き、間伐体験等を実施する事により、水源林としての山林の大事さ、山林の果たす地球温暖化防止の役割等について学ぶ
内容	10 月頃に道志村バス見学会を実施する。 現地にて間伐体験・散策体験を実施する。 また、間伐材を活用した道志の湯の入浴体験会を実施する。
場所	道志村
対象	横浜市民親子
期間	平成 27 年 10 月～11 月
予算	130 千円
募集方法	市のたより等
協力団体等	公益財団法人横浜市資源循環公社、道っきーず、ウイメンズ・コミュニティ-

### 5) YES節電・省エネ講座

目的	ヨコハマ・エコ・スクール(YES)の一環として、講座を実施する。
内容	市との協定事業で実施する学習会等の参加者の中から、希望者を募り、専門的学習講座を実施する。
場所	横浜市内
対象	協議会学習会等受講者
期間	平成 27 年 7 月から平成 28 年 2 月 2 回程度
予算	40 千円
募集方法	HP、チラシ、ツイッター等
協力団体等	市・区、企業、大学、自治会、町内会、商店街等

## 6) 会員交流会の開催

会員との交流を年数回実施する。

## 7) 他の地域協議会との意見交換会の開催

関東地域地域協議会への出席

県内地域協議会との意見交換会